

## 会議要旨

会議名	令和6年度 第1回館山市都市計画審議会
開催日	令和6年10月22日(火) 14時30分~15時40分
開催場所	館山市役所本館 2階会議室
出席者	都市計画審議会委員 12名 館山市 石井副市長 事務局 大和建設環境部長、山川都市計画課長、他職員4名 千葉県 道路計画課2名、都市計画課1名
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者	0名
会議概要・結果等	<p>■議事</p> <p>館山都市計画道路の変更（千葉県知事決定）について</p> <p>■会議概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長の選出（福原龍美委員）</li> <li>　会長職務代理者の指名（生稻裕美委員）</li> <li>・諮問</li> <li>・会議及び議事録の公開・非公開の決定・・・公開</li> </ul> <p>①議事説明</p> <p>議事（第1号議案） 「館山都市計画道路の変更（千葉県知事決定）について」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質疑応答</li> <li>・採決 全会一致で可決</li> </ul> <p>②その他 情報提供案件説明</p> <p>「南房総・外房広域都市計画マスタープランの見直し等について」 「館山市都市計画の提案手続に関する要綱（案）について」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質疑応答</li> </ul> <p>■主な質疑</p> <p>(議事 第1号議案)</p> <p>質問① 富津館山道路トンネル部の横断幅員については、既存トンネルより増設トンネルが狭くなっているが、増設トンネルの大きさは既存トンネルより小さくなるのか。</p> <p>回答① 既設トンネルは暫定2車線で供用しているため、ポール等の設置の用地、また、緊急車両の通行確保のために路肩を広く確保している。したがって、増設トンネルの大きさは既設トンネルに比べて小さい断面で計画している。</p> <p>質問② 国道127号館富トンネルの車線中心線は、既設トンネルと増設トンネルで位置がずれることになるのか。</p>

回答② 既設トンネルについては、4車線化後も歩道・路肩・車道・道路中心線の位置は現状と同じである。また、増設トンネルは新たに整備するものであり、歩道・路肩・車道・道路中心線の位置と幅員は横断図に示しているとおりである。

質問③ 富津館山道路の事業延長は19.2キロメートルとされているが、事業の規模では20.2キロメートルであり、この1キロメートルの差の理由は何か。

回答③ 富津竹岡インターチェンジと富浦インターチェンジに接続するランプ部分の約1キロメートルを加えた延長が事業規模の都市計画決定する20.2キロメートルになる。

(その他 南房総・外房広域都市計画マスタープランの見直し等について)

質問① 館山市都市計画マスタープランと館山市立地適正化計画の策定については、業者委託ではなく、市職員により独自に策定することはできないか。

回答① これらの計画策定については、膨大な作業量があり、また、専門的な知識が必要になるため、専門知識を有する業者への委託を考えている。また、現状を踏まえた上で、館山市のまちづくりをどのように考えていくのか、今後の地区別懇談会等で市民の意見を伺いながら策定していきたい。

質問② 都市計画マスタープランの見直しは、具体にどの部分の見直しを行うのか。

回答② 見直しの具体的な内容は決まっていないが、現状のまちづくりを把握し、今後の計画を策定することになる。

質問③ 学校再編成により生じる空き施設の利活用に関する計画などについても都市計画マスタープランに反映することになるのか。

回答③ 新たな計画や既に運用している施策についても、都市計画マスタープランに反映することを考えている。